

令和7年1月21日(火)
定例市長記者会見

13時10分から
市庁舎東館8階 大会議室

TOYAMA CITY

発表項目

1. 写真展「写真と言葉の“往復書簡”」の開催について
【企画管理部 広報課】
2. 「令和6年度富山市防災講演会」の開催について
【防災危機管理部 防災危機管理課】

写真展「写真と言葉の“往復書簡”」の開催について

◆ 「写真と言葉の“往復書簡”プロジェクト」について

学生と社会人がペアになり、毎回「写真」と「メッセージ」をセットにして相手と交換するもの。講座は、7月から12月の間に4回実施。



※ 本市出身の写真家テラウチマサト氏（市政策参与）が企画し、講評やアドバイスを実施。

○プロジェクト参加者

- ・ 高校生・中学生 19人 ※高校生18人・中学生1人
- ・ 社会人 11人 ※アメイジングトヤマ写真部より

写真展「写真と言葉の“往復書簡”」の開催について

◆ 写真展「写真と言葉の“往復書簡”」の開催

今年度実施した「写真と言葉の“往復書簡”プロジェクト」において、学生と社会人が互いに交わした「写真」と「メッセージ」を展示。



名 称 「写真と言葉の“往復書簡”

～あなたがいるから、さみしくない～」

期 間 令和7年1月11日(土)～3月17日(月)

場 所 オーバード・ホール 中ホール 2階ギャラリー ※入場無料

写真展「写真と言葉の“往復書簡”」の開催について

◆ 展示イメージ

展示数：38組（写真とメッセージの
セット各4点で1組）



◆ テラウチマサト氏によるギャラリートーク

参加者（学生・社会人）を招いてテラウチ氏が講評等
を行う。一般参加も可能。※申込不要

令和7年2月28日(金) 18:30～19:30



「令和6年度富山市防災講演会」の開催について

◆ 開催日時

令和7年2月17日(月) 14時～16時

◆ 開催場所

オーバード・ホール 中ホール



防災講演会事業について

◆ 目的

- ◎ 富山市でも大きな混乱と被害が発生した、能登半島地震の経験をふりかえり、次の災害へどう備えるか、様々な立場・視点から考える。
- ◎ 災害に対する知識と理解を深め、日頃からの備えに役立てる。

富山市・富山大学連携 防災講演会



2025 2.17 (月)

能登半島地震から1年 何をまなび、何をいかすか

14:00～16:00 (開場 13:30) オーバード・ホール 中ホール (富山市牛島町)
定員 500名 / 参加費 無料 ※ 申込は不要です。

講演プログラム

- 開会の挨拶 藤井 裕久 (富山市長)
- 話題提供：能登半島地震にまなび
 - ▶ 「能登半島地震と富山湾の海底地すべり」 立石 良 (富山大学 准教授)
 - ▶ 「津波からの避難行動」 井ノ口 宗成 (富山大学 准教授)
- パネルディスカッション：次の災害にいかすこと
 - ▶ パネリスト
- 閉会の挨拶 安永 敬明 (富山大学 都市デザイン学部長)



パネリスト

※ パネルディスカッション開催時、パネリストからの発言は通訳機で同声通訳いたします。

▶ コーディネータ 井ノ口 宗成

能登半島地震から1年が経ちました。富山市でも大きな混乱と被害が発生しました。この経験をふりかえり、次の災害へどう備えるか、様々な立場・視点から考えます。

お問い合わせ先 富山大学 都市デザイン学部 防災危機管理課 電話 076-443-2181

主催：富山市、富山大学 都市デザイン学部
後援：第3次富山湾水産資源計画「富山湾水産資源計画」実行委員会、富山県「能登半島地震」対策委員会、富山県「能登半島地震」対策委員会、富山県「能登半島地震」対策委員会